



2024年12月19日

各 位

会 社 名	大 石 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名	代表取締役社長 山口 博章
コード番号	3 9 4 3 東証スタンダード、福証
本社所在地	北九州市八幡東区桃園 2-7-1
問 合 せ 先	取締役管理本部長 大谷 洋文 電話 093-661-6511

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は、2024年12月19日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状分析と課題認識を行い、今後の方向性について決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照下さい。

以上



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

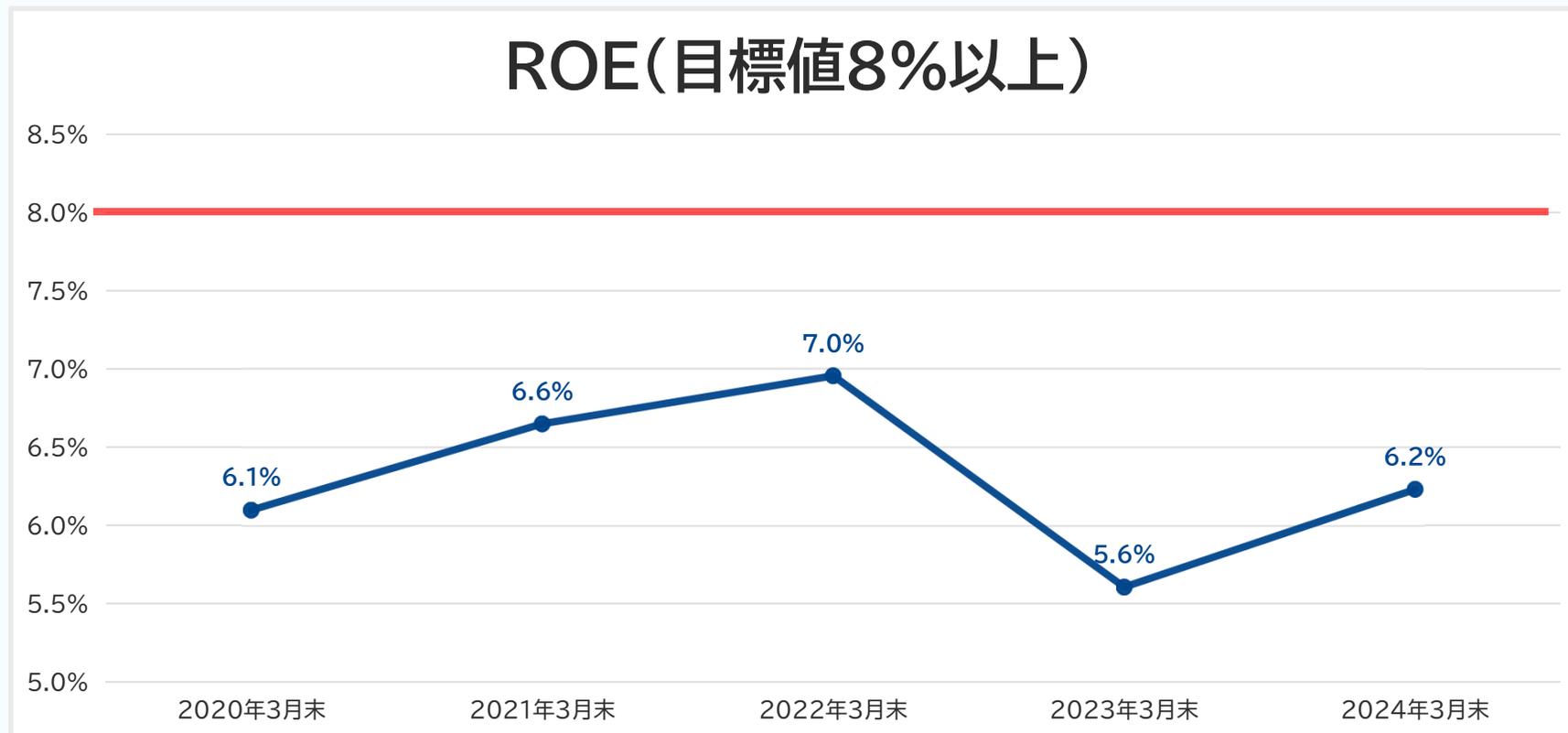
2024年12月19日

大石産業株式会社

(東証スタンダード、福証：3943)



● ROEが継続して8%を下回っている



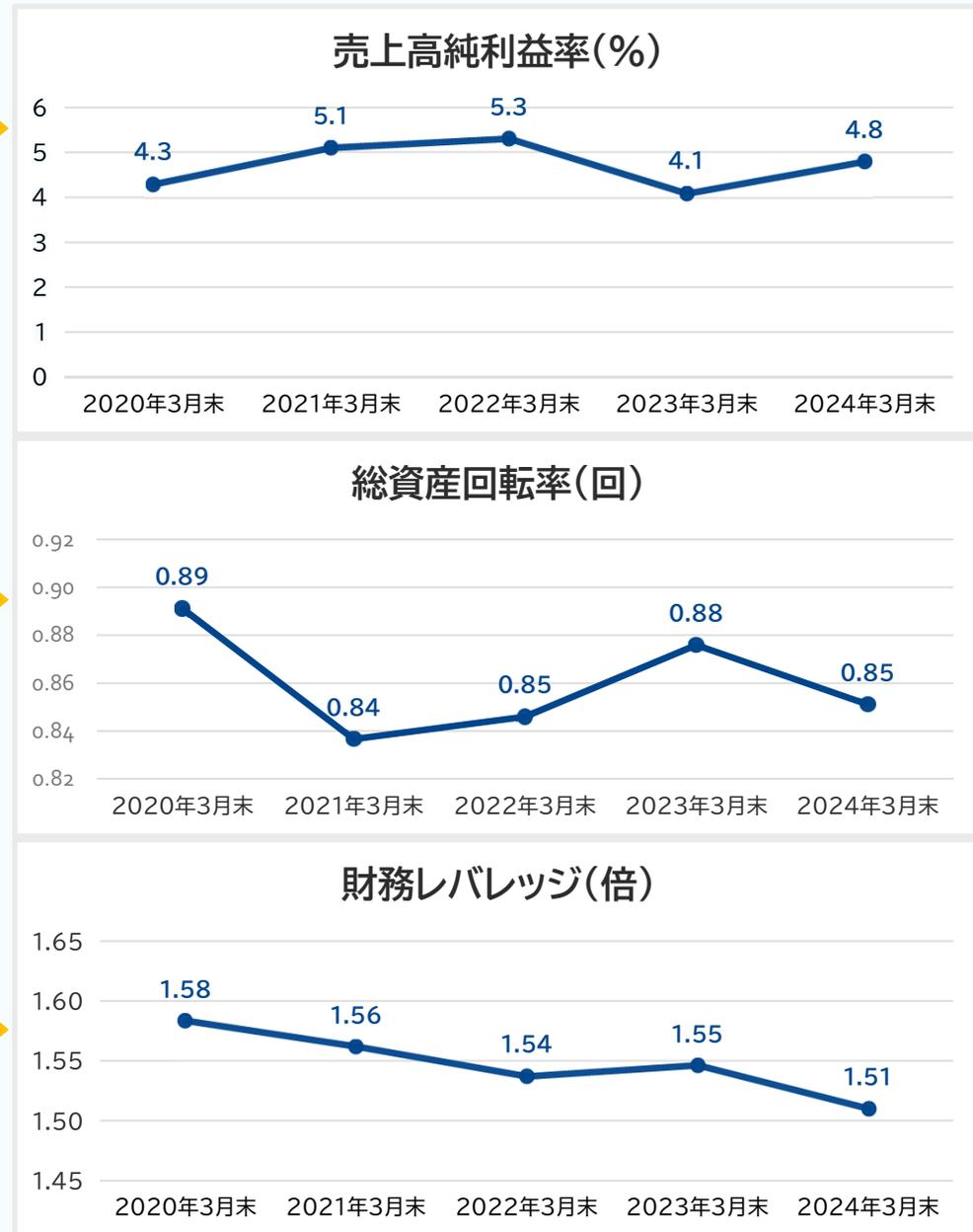
◎ 要因分析のため、ROEを「総資産回転率」「売上高純利益」「財務レバレッジ」の3つに分解

◎ ROEを3要素に分解

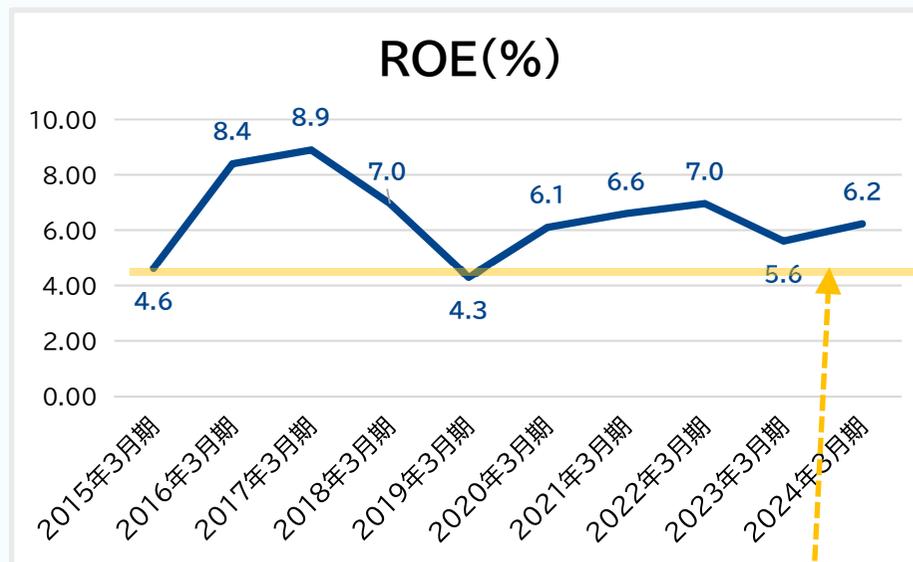
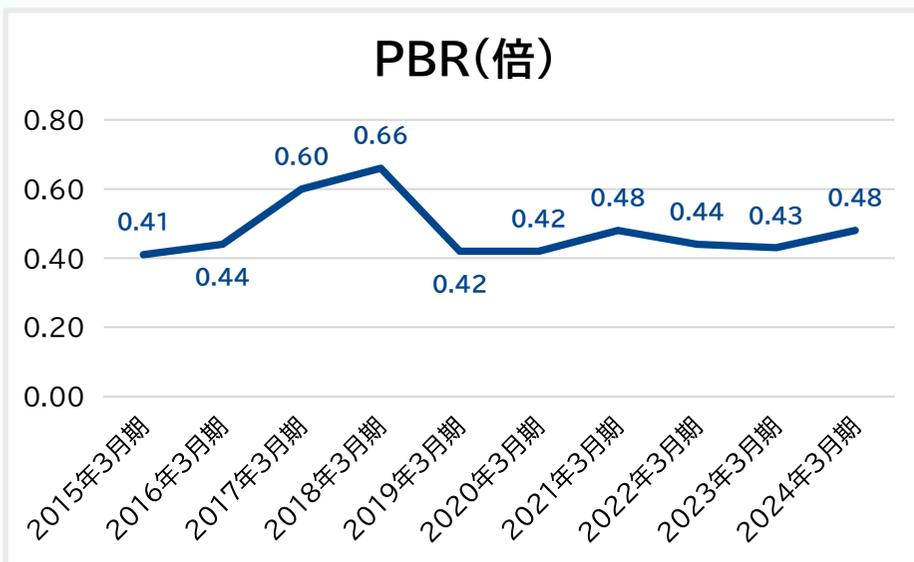
売上高純利益率、
財務レバレッジは安定的に推移
総資産回転率が低い



ROEを上げるには総資産回転
率を上げること、より高い利益
率を目指すことが必要である



- PBRは目安の1倍を未達(2024年3月期:0.5倍)
- ROEは目標値以下(2024年3月期:6.2%)だが、株主資本コストを上回る
- 投資家に対し当社の事業戦略、成長性についての説明が不足しており、理解、評価、期待値が低いことが考えられる



当社が認識する株主資本コスト

リスクフリーレート
0.86%

+

β
0.49

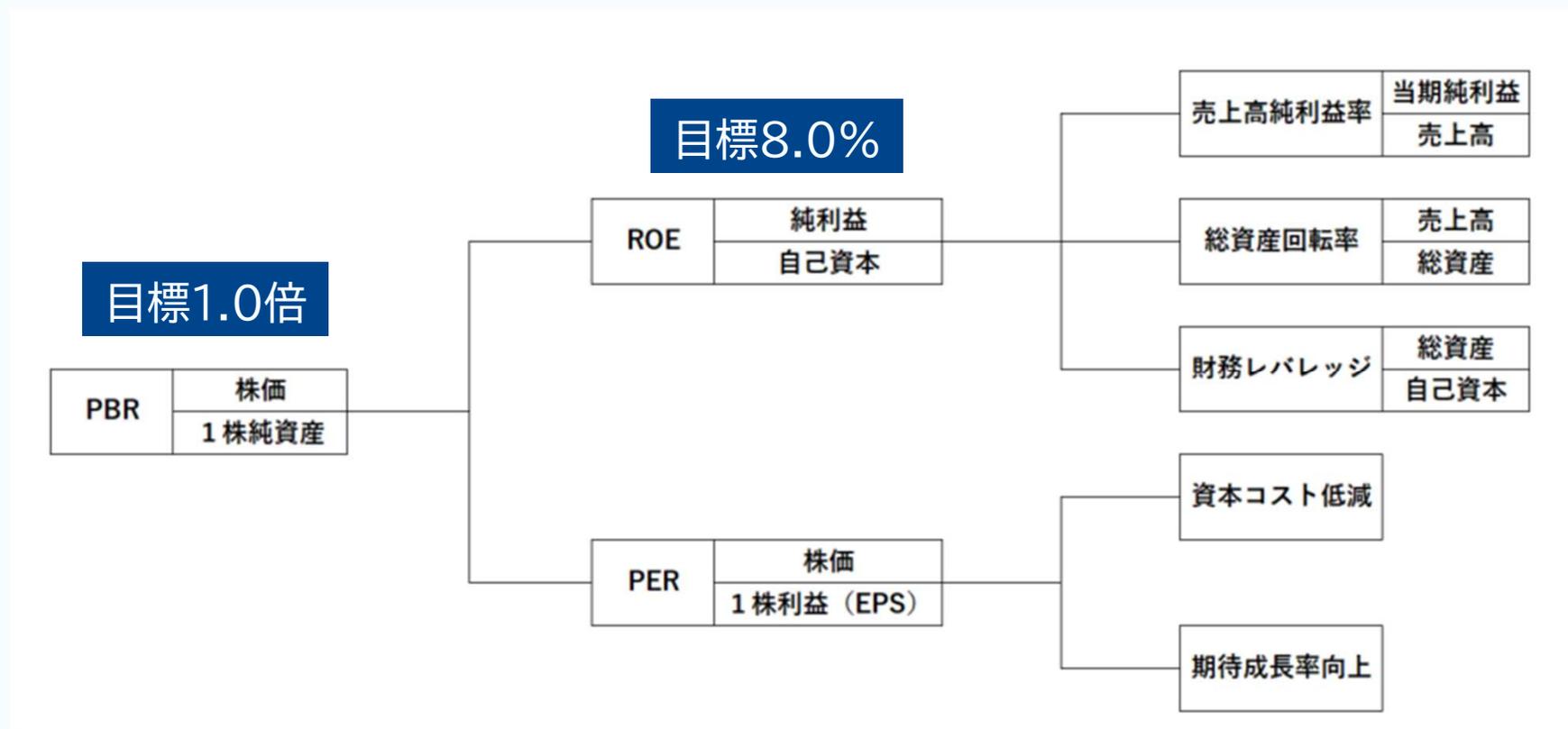
×

マーケットリスク・プレミアム
7.33%

=

株主資本コスト
4.45%

◎ 各種施策の実行により株価・企業価値の向上を目指す



事業戦略

- ・ 成長投資
- ・ 人材投資
- ・ 中計コミット

財務戦略

- ・ 不要資産売却
- ・ 政策保有株式縮減
- ・ 株主還元の充実 (増配、自己株取得)

IR戦略

- ・ ガバナンス向上
- ・ 流動性向上策 (分割、優待等)
- ・ IR強化
- ・ 開示の充実

1. 事業戦略

- (1) 次期(第8次)中期経営計画の立案と達成
- (2) 主力事業への積極的な成長投資の実施
- (3) 積極的な人的資本投資の実施

2. 財務戦略

- (1) 株主還元の充実(配当方針の見直し、安定配当の継続)
- (2) 政策保有株式縮減

3. IR戦略

- (1) 個人投資家向けIR、機関投資家向けの決算説明会を継続実施
- (2) 積極的な広報、PR活動の実施

大石産業株式会社

OHISHI SANGYO CO., LTD.

本資料の将来に関わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、現状または将来のリスクや不確実な要素が含まれています。

また、実際の業績は経済情勢の変化、法的規制の変化、自然災害等により変動する可能性があります。

